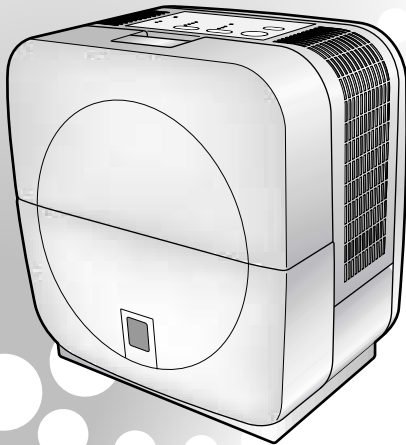
MITSUBISHI

三菱 加湿機（ディスク気化式／卓上型）

形名
SV-DK80D（エスブイ ディーケー80ディー）

取扱説明書

〈保証書付〉 裏表紙に付いています

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

もくじ

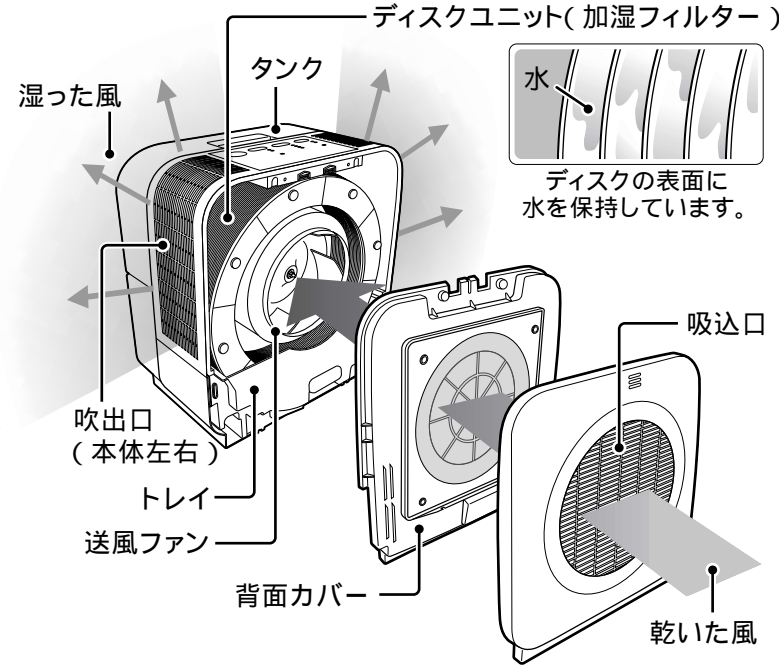
- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。
- 「取扱説明書（保証書）」は大切に保管してください。

特長

「ディスク気化式」は、表面に水を保持させた回転するディスクに風をあてて気化する加湿方式です。

気化式は消費電力が少なく、スチームファン式よりも省電力です。

大風量で、冷たく湿度の高い空気を送り出して、ゆっくりと加湿します。
水分は空気中に完全に溶け込んでいるため、手をかざしても湿り気は感じません。

また、従来の不織布素材の加湿フィルターを使用した「気化式」では、定期的な加湿フィルターの交換が必要でしたが、この「ディスク気化式」ではディスク状の加湿フィルターを使用するため、交換なしで継続的にお使いいただけます。

●「カルキ水回収システム」について

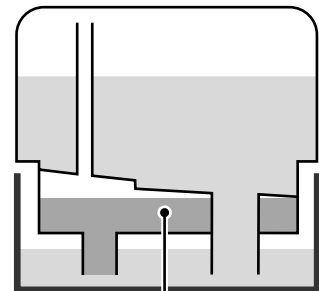
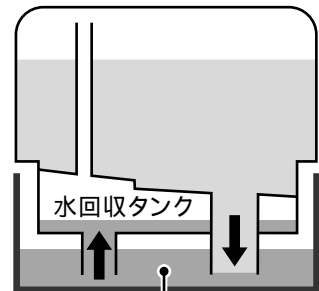
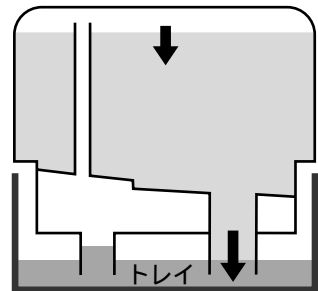
加湿をすると水分は気化されますが、水アカの原因となるカルキ成分が残ってしまうため、時間とともに蓄積されてしまいます。
この問題を解決するため、タンクを2層式にした「カルキ水回収システム」を搭載しました。
カルキ成分が濃くなった水をトレイから回収し、トレイ内のカルキの濃縮を抑えるシステムです。
このシステムにより、給水時に水回収タンクにたまった水をすてることで、ディスクやトレイの清掃の手間を軽減します。また、カルキ付着による加湿能力の低下を防ぎます。

●「カルキ水回収システム」のしくみ

給水タンクに給水して本体にセットすると、トレイにキレイな水を給水します。

トレイのカルキ成分が濃くなった水を、自動的に水回収タンクに回収します。

カルキ成分が濃くなった水

次回の給水時に、水回収タンクにたまった水をすててください。

カルキ成分が濃くなった水

よくあるご質問

蒸気が出ないけど、加湿してるの？

- 水分を気化させて加湿するため、蒸気は出ません。吹き出す風は冷風です。
- 長時間（弱）、連続（強）以外では、間欠運転を行ないます。P12~13
  目標の湿度に達すると、加湿（送風）を止め、湿度が下がってくると加湿（送風）を再開します。

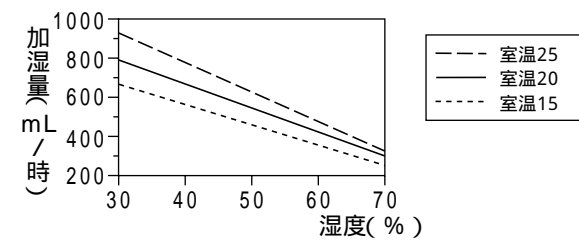
冷たい風が出るけど？

- 水分を気化させて加湿するため、吹き出す風は冷風です。風が当たって寒く感じる場合は、「静音自動」または「長時間（弱）」で使うか、設置場所を変えてください。

湿度が上がらないのはなぜ？

- お部屋が広いと、湿度が上がりにくくなります。適用床面積を確認してください。P22
- 窓や出入口の開閉が多いと、換気率が高くなり、湿度が上がりにくくなります。
- 「長時間（弱）」で運転すると、湿度が上がりにくくなります。P13

加湿量が少ないのはなぜ？

気化式ですので、次の場合には加湿量が少なくなります。
- 雨の日など、湿度が高いとき
- 室内の温度が低いとき

このグラフは日本電機工業規格（JEM1426）に基づき、室温・湿度を変えて測定した値です。使用する部屋の状態によっては、加湿量が異なる場合があります。

上手な使いかた

こんなときには、この運転がおすすめ！

運転を切換える P12~13

お肌の乾燥予防に

うる肌モード
床暖房など、送風のない暖房をしているときに
肌の水分量を保つよう、自動的に加湿したり、加湿を止めたりします。

もっとうる肌モード
エアコン暖房など、送風による暖房をしているときに
エアコン暖房など送風による暖房は肌が乾燥しやすいため、高めの湿度を保つよう、自動的に加湿したり、加湿を止めたりします。

かぜが流行する時期に

のどガード
のど粘膜の乾燥を防ぐよう、自動的に加湿したり、加湿を止めたりします。

一定の湿度を保ちたいときに

自動
湿度50%を保つように自動的に加湿したり、加湿を止めたりします。

一定の風量で加湿したいときに

連続（強）
風量 強でお部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。

運転切換

長時間（弱）
風量 弱でお部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。

● おやすみのときなど、長時間加湿したいときに
● 静かに加湿したいとき
● 給水する手間を減らしたいときに

静音自動
風量 弱で湿度50%を保つよう、自動的に加湿したり、加湿を止めたりします。

長時間（弱）
風量 弱でお部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

図記号	意味	図記号	意味	図記号	意味	図記号	意味
⃠	禁止		接触禁止		水ぬれ禁止		電源プラグを抜く
	分解禁止		ぬれ手禁止	❗	指示を守る	⚠	感電に注意（本体表示）

⚠警告

幼児の手の届く所では使わない

感電・けがの原因になります。

禁止

吹出口に棒などを入れない

けがの原因になります。

禁止

使用中は持ち運ばない、お手入れをしない

感電の原因になります。

接触禁止

本体を水につけない、水をかけない、直接水をいれない

本体内部に水が回りこみ、火災・感電・ショートの原因になります。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電源プラグを抜差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

修理・分解・改造はしない

火災・感電の原因になります。

修理はお買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。P23

分解禁止

電源コードを傷つけない

加工しない、束ねない、引っ張らない、上に物をのせない、コードの根元を曲げたまま使用しない

禁止

破損して、火災・感電の原因になります。
（ペットのかみつきにもご注意ください）

AC100Vのコンセントを単独で使用する

AC100V

AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差込む

確認して差込む

火災・感電の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

お手入れは電源プラグを抜いてから行なう

抜く

感電の原因になります。

定期的に電源プラグのほこりを取る

ほこりを取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

故障・異常時には、直ちに使用を中止する

使用を中止する

- スイッチを入れても運転しないときがある。
- 水漏れする。
- 本体・電源コード・プラグが異常に熱い。
- 運転中異常な音や振動がする。
- コゲ臭い。
- 運転音が異常に大きくなる。
- 取付ネジが腐食、ゆるんでいる。
- 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

火災・感電・けがの原因になります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご連絡ください。

⚠注意

不安定な場所で使わない

設置禁止

転倒すると、水がこぼれて感電・ショート・水漏れの原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない

設置禁止

転倒すると感電・ショートの原因になります。

落としたタンク・本体を使わない

使用禁止

そのまま使うと破損箇所から水漏れして家財などをぬらしたり、ショート・感電・発火の原因になります。
お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。P23

体に吹出風を長時間あてない

特に、自分で湿度調節できない方（乳幼児・お子さま・お年寄り）が使用するときは注意する

禁止

吹出風を体に長時間あてると、体調不良をおこす原因になります。

タンク・トレイ内の水を飲まない・飲ませない また、動物・植物などにタンク・トレイの水を与えない

飲用禁止

体調不良や思わぬ事故の原因になります。

ディスクユニットのネジを幼児の手の届くところに置かない P19

禁止

誤飲の原因になります。

食品や美術品・学術資料などの保存や、業務用には使用しない また、ピアノなどの楽器の保管には使用しない

使用禁止

保存品・保管品の品質低下の原因になります。

本体持ち手を持って運ぶ

本体持ち手を持って運ぶ

落とすとけがの原因になります。

給水タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえる また、本体内部は常に清潔に保つよう、定期的にお手入れする

お手入れする

お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭・汚れの原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康に良くないことがあります。

電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

プラグを持って抜く

ななめに引き抜いたり、コードを持って引き抜くと、プラグの刃や芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。

使わないときは電源プラグを抜いて排水する

抜く

絶縁劣化して漏電火災・感電・水漏れの原因になります。

お願い

製品の破損・劣化・誤動作や物損を防止するために、
この欄をお読みください。

水道水以外は使わない

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用すると、故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・酸性水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

タンクに油類を付着させない

タンクの内外面にアロマオイル・食用油・ヘアスプレーなどが付着すると、ひび割れ・変色の原因になります。
万が一付着してしまった場合は、よくふき取ってから台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。

吸込口・吹出口をふさがない

故障の原因になります。

定期的にお手入れする P15~16

水質によっては、水アカが付着する場合があります。水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や誤動作・故障の原因になります。付着する水アカの色（白・茶・黒）や固さは、水質によって異なります。

使わないときは水を捨てる

3日間以上使用しないときは、タンクとトレイの水を捨ててください。水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなり、悪臭・汚れの原因になります。

凍結に注意する

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。凍結するとタンク破損の原因になります。また、凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

効率良く加湿するポイント

■温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用する

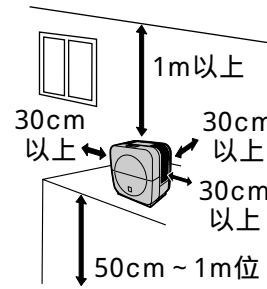
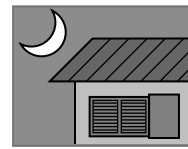
- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たらないところ
- 吸気の温度が0～35℃のところ
- 同じ部屋で加湿機を2台以上使うときは、60cm以上離して使用する

■室内の湿度ムラをなくす

床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
空気循環用の送風機（サーキュレーター・エアコン）などを使って、室内の空気を循環させてください。

■室内の結露を防止する

- 加湿機の周囲をあける
  - ○天井から1m以上離す
    吹出す風で、天井が結露しやすくなります。
  - ○壁・窓から30cm以上離す
    壁の温度は室内中央より低いため、結露しやすくなります。
  - ○床から50cm～1m位離す
    湿度の分布ムラを防ぎます。

1m以上
30cm以上
30cm以上
30cm以上
50cm～1m位

- 夜間の加湿は雨戸を閉める
  冷たい外気をシャットアウトし、温度差を小さくします。
  （窓の外側の温度と室温の差が大きいと、結露しやすくなります）

- 窓に風をあてる
  サーキュレーターや扇風機などを使うと、結露をおさえられます。

※状態によっては結露がなくならない場合もあります。

こんなところでは使わないでください

- **暖房機の上や近く、温風や直射日光があたるところ**
  変形・変色の原因になります。また、センサーが誤動作することがあります。
- **家具・壁・カーテン・天井などに、吹出す風が直接あたるところ**
  しみが付いたり、変形・変色の原因になります。
- **電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ**
  正常に動作しない場合があります。
- **毛足の長いじゅうたんやふとんの上**
  本体が傾いて水がこぼれたり、水位センサーが正常に働かないことがあります。

おねがい

- お子さまやペットが、本体やコードにいたずらをしないよう、ご注意ください。また、つまずかないよう、ご注意ください。けがの原因になります。
- フローリングの床に水をこぼしてしまった場合は、すぐにふきとってください。ぬれたままにしておくと、白く変色する原因になります。

気化式とスチームファン式の違いについて

■運転音について

- 気化式は大風量で加湿しますので、スチームファン式にくらべて送風音が大きめです。

■湿度の上がりかたについて

- 気化式は、部屋の温度・湿度によって加湿量が変化します。

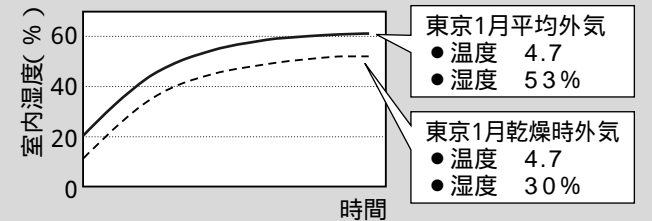
湿度について

■のどや肌に良い湿度は、55～65%と言われています。

しかし、この湿度を保つと、外気温や室温によっては結露します。結露をおさえながら上手に加湿してください。

■適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の状態（換気率）や外気の乾燥の程度によっては湿度が上がりにくい場合があります。

仕様（22ページ）の「適用床面積」は、日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいた数値であり、「東京の1月の平均気温・湿度のときに、室温20℃の部屋で湿度を60%に維持する床面積」を基準として表記しています。
外気が乾燥していると、60%に設定しても到達しません。

＜外気の状態と室内湿度の上がりかたのイメージ＞

外気が乾燥していると、同じお部屋でも湿度が60%まで上がりません。

現在湿度表示について

■現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度を表示します。

- 運転開始直後は本体内部の温度・湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまでに約10分かかります。
- 同じ室内でも場所によって湿度が違います。ご自宅の状況に応じて設置してください。

■他の湿度計と現在湿度表示が違うことがあります。

湿度計によって測定方法が異なるためです。
市販の湿度計には、大きく分けて2つの方式があります。

方式	応答速度	一般的な有効範囲
バイメタル式 家庭用として普及しているタイプ	やや遅い	35～75% 低湿・高湿の測定が苦手といわれています
電気式 この加湿機で採用	やや速い	30～80%

- 湿度計と当社加湿機とでは応答速度が違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。
- 有効範囲が異なりますので、30%付近・70%付近では湿度差が生じやすくなります。

各部のなまえとはたらき

本体

お知らせ
● ディスクユニット（加湿フィルター）には「親水加工」を施しているため、ディスク（端面・表面）が白っぽくなっていることがあります。性能上の問題はありません。

＜除菌について＞

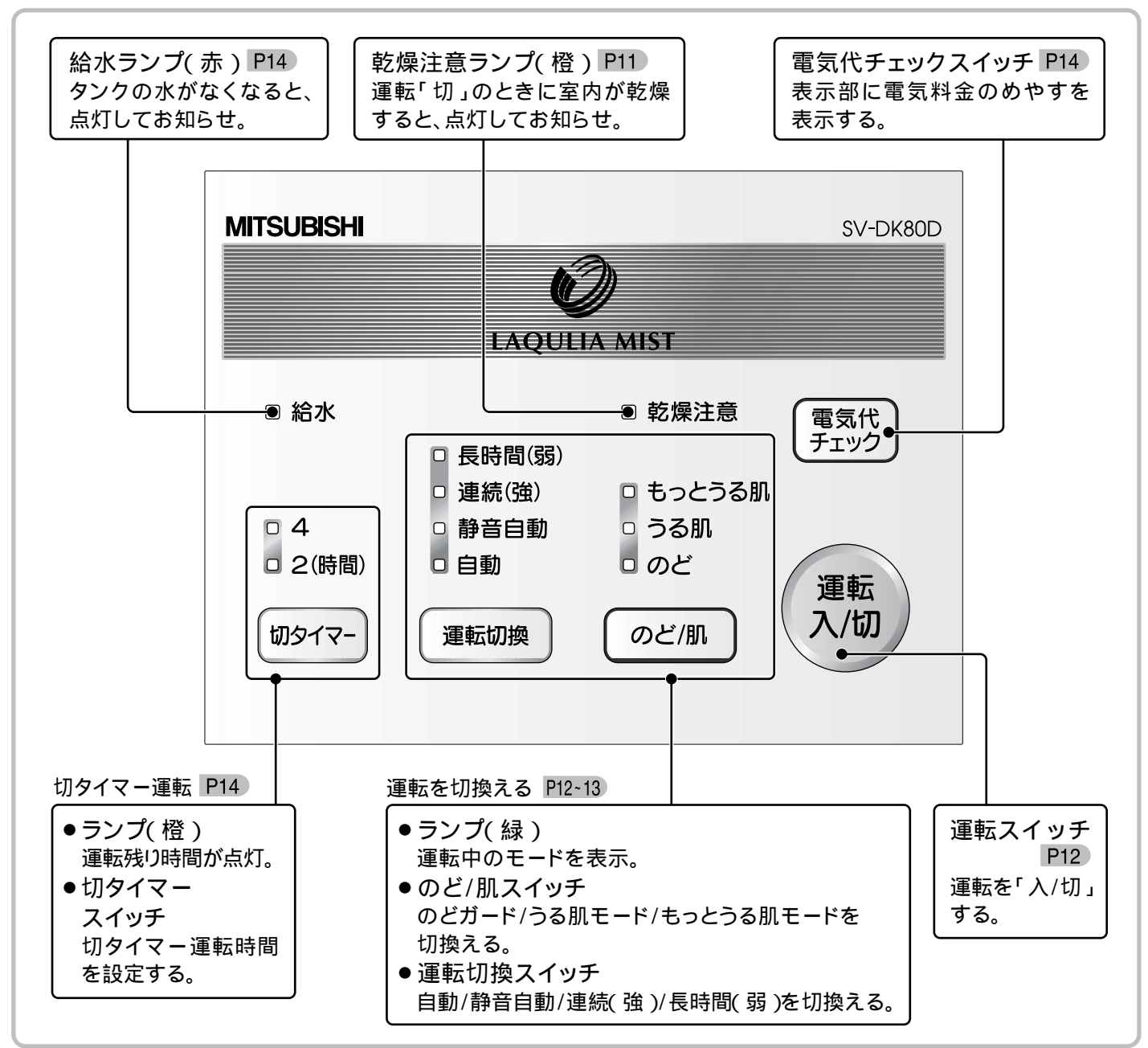
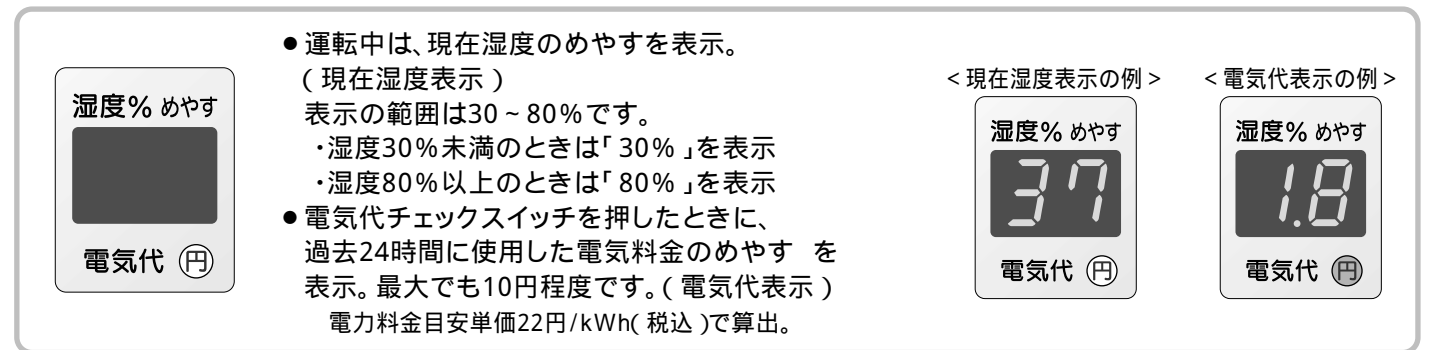
部品名	除菌の確認試験機関名	試験方法	試験結果	除菌の方法	除菌の処理を行なっている対象部分の名称
※1 除菌ボックス	（財）日本化学繊維検査協会	給水タンクに大腸菌液を投入し、8時間放置後の菌数を測定	99%以上抑制	ガラスタブレットに除菌成分を含有	ガラスタブレット
				樹脂ペレットに除菌成分を含有	樹脂ペレット
※2 除菌ユニット	（財）日本化学繊維検査協会	トレイ内に大腸菌液を投入し、8時間放置後の菌数を測定	99%以上抑制	樹脂ペレットに除菌成分を含有	樹脂ペレット
※3 除菌プレフィルター	（財）日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上抑制	フィルターに除菌成分を添着	ネットフィルター

操作部

表示部（現在湿度表示／電気代表示）

● 運転中は、現在湿度のめやすを表示。（現在湿度表示）
表示の範囲は30～80%です。
・湿度30%未満のときは「30%」を表示
・湿度80%以上のときは「80%」を表示
● 電気代チェックスイッチを押したときに、過去24時間に使用した電気料金のめやす※を表示。最大でも10円程度です。（電気代表示）
※電力料金目安単価22円/kWh（税込）で算出。

＜現在湿度表示の例＞

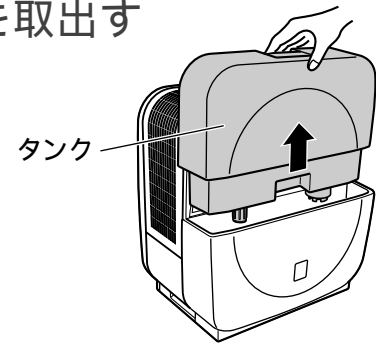
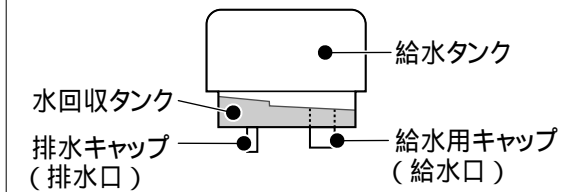
＜電気代表示の例＞

使うまえ

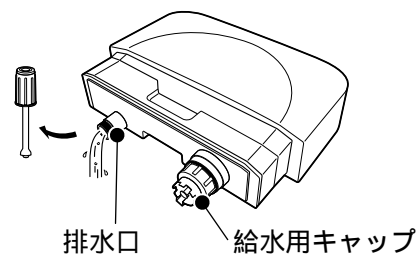
準備

ご購入後初めてお使いになるときは、本体内部のディスクユニット保護ダンボールをはずしてください。

給水する

毎日新しい水と入れかえ、いつも清潔にしてお使いください。

1 タンクを取出す

排水用キャップ・給水用キャップから水滴が落ちることがあります。ゆっくり引き上げ、水滴が落ちてからタンクを取り出してください。

2 水回収タンクにたまった水を排水する

①排水用キャップを開けて、たまった水をすてる
②水回収タンクに水を入れて振り洗いし、排水する
③排水用キャップをしっかりしめる

水回収タンクにたまった水は、給水するたびにすててください。水をすてないと、ディスクユニットに水アカがつきやすくなります。

3 給水タンクに給水する

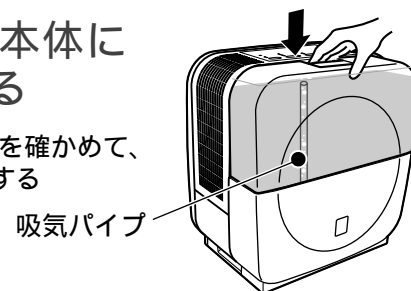
①給水タンクに水が残っていたら、給水用キャップを開けて排水する
②給水タンクを振り洗いし、「給水口」から水道水を指示の位置までゆっくり入れる
③給水用キャップをしっかりしめる

- 勢いよく水を入れると、水があふれたり、はねたりすることがあります。右図の段のところからは、水をゆっくり入れてください。

- 給水用キャップの空気穴に水がつまっていたら、ティッシュペーパーや綿棒等でふき取ってください。空気穴がつまると、「ボコボコ」音が大きくなります。P21

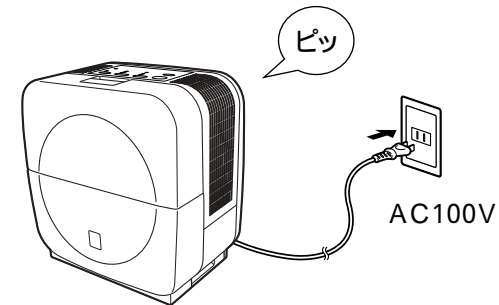
- 油類が付着しないよう気をつけてください。油類が付着してしまった場合は、台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。

4 タンクを本体にセットする

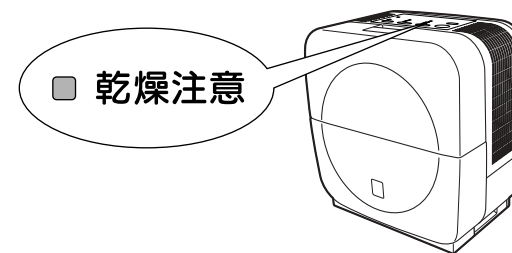
タンクの向きを確かめて、静かにセットする

- トレイに水が満たされるまでに、1～2分かかります。
- タンクをセットすると給水タンク内の水位が下がり、吸気パイプの中を気泡が上がっていきます。トレイ内の水を回収タンクに吸い上げているためです。

おねがい

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用しないでください。使用すると、変形やタンクひび割れの原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・酸性水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- タンクにひびが入っていないことを確認してください。タンクにひび割れがあると運転時にタンクの中に空気が入り、徐々に水漏れにつながります。ひび割れたタンクは使わないでください。
- タンクのキャップをしっかりしめてください。しめづらいときは、キャップを1度開ける方向に回し、タンクとかみ合わせてください。キャップをしっかりしめないと、水もれの原因になります。

電源プラグをコンセントに差込む

室内の湿度が低いと、乾燥注意報が働きます。

乾燥注意報

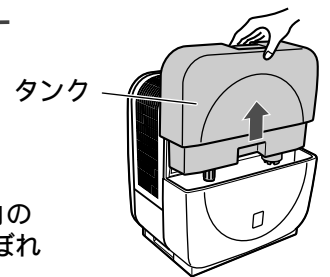
乾燥注意報とは
運転「切」のときに室内の湿度が約40％以下になると、乾燥注意ランプが点灯してお知らせする機能です。（音は鳴りません）
加湿するめやすとしてお使いください。

運転「入」でも、次の状態のときには室内の乾燥をお知らせします。
- 給水ランプ点灯時

持ち運ぶときは

運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、タンクをはずして運んでください。

1 タンクを取出す

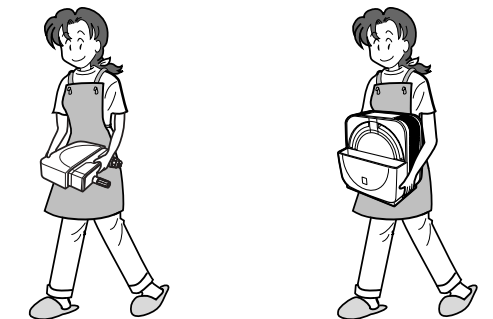
タンク

必ずタンクを取出してください。
取出さないと、トレイ内の水位が上昇し、水がこぼれることがあります。

2 トレイを引出して排水し、トレイを本体にセットする P16~17

3 タンクと本体を静かに運ぶ

タンクと本体は、別々に運んでください。

<タンク>
両手でタンクの持ち手を持って運ぶ

<本体>
本体下部の持ち手に手をかけて運ぶ

- 持ち手を持って運んでください。
- 本体をかたむけたり、ゆらしたりすると、水がこぼれることがあります。
- フィルターカバー・背面カバーをはずした状態で、本体を運ばないでください。

4 本体を設置し、タンクを取付ける

運転

運転する

押す ●現在湿度点灯

加湿を始めます。
お好みの運転を選んでください。P12~13

運転開始時には
次のような動作があります

- 使いはじめの7分間は、湿度に関係なく強制的に加湿します。
- 現在湿度表示が安定するまで約10分間かかります。

■タンクに水がなくなると、給水ランプが点灯します P14

ご使用開始直後、しばらくはゴム・プラスチック・塗料のニオイが気になる場合があります。ご使用するにつれてニオイは少なくなりますが、気になる場合は換気をしてください。

終了する

押す ●現在湿度消灯

再度運転するときは
運転スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いても、設定を記憶しているため、同じ設定で運転を始めます。

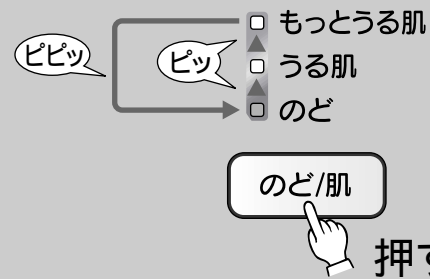
運転を切換える

「のど」「うる肌」「もっとうる肌」「長時間（弱）」「連続（強）」「静音　自動」「自動」の7種類の運転モードから選んで運転してください。2つ以上の運転モードを同時に設定することはできません。

<のどガード・うる肌モード・もっと　うる肌モード>

かぜが流行する時期には「のどガード」、お肌の乾燥予防には「うる　肌モード」、エアコン暖房などの送風によるお肌の乾燥予防には「もっとうる肌モード」をお使いください。
より効果的に運転するために、下記の適用床面積の範囲でお使いく　ださい。

ピピッ　ピッ
- もっとうる肌
- うる肌
- のど

押す

- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切換わります

のどガード・うる肌モード・もっとうる肌モード
適用床面積

木造和室	～6畳（10m²）
プレハブ洋室	～10畳（16m²）

「のどガード」「うる肌モード」「もっとうる肌モード」では、湿度を少し高めに設定しています。そのため、外気温と室温の差が大きいと、室内が結露しやすくなります。「効率良く加湿するポイント」P6~7 を読んで上手にお使いください。

●もっとうる肌モード　エアコン暖房など、送風による暖房をしているときに

エアコン暖房など、送風による暖房は肌が乾燥しやすいため、室温をみはり、高めの湿度で加湿運転します。間欠運転※です。

もっとうる肌モード運転時の室温と湿度の関係

室　温	備　考
室温が上がっているとき	湿度70%に向けて、自動的に間欠運転※をします。
18℃以上で安定しているとき	ゆらぎ加湿を行ない、お肌にうるおいを与えます。 ゆらぎ上限:65% ゆらぎ下限:60%
18℃未満で安定しているとき	湿度50%を保つよう、自動的に間欠運転※をします。
室温が下がっているとき	

●のどガード

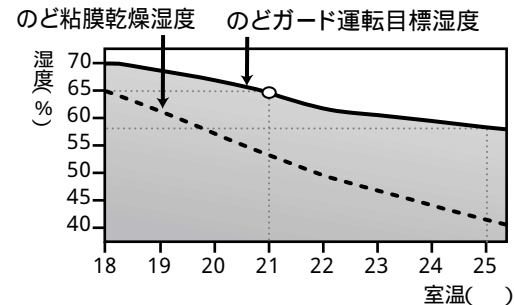
湿度をみはり、間欠運転※をして室温に最適な湿度に加湿し、のど粘膜の乾燥を防ぐ湿度を保ちます。

のど粘膜乾燥湿度を下回ると、のどが乾燥します。
〈ウィンスロー著「温度と人間」より〉

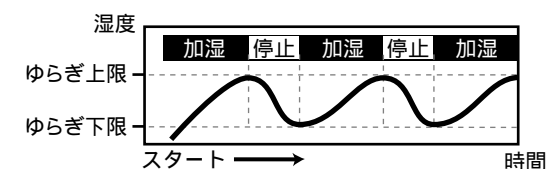
<例>21℃のときの目標湿度は65%になります。

●うる肌モード　床暖房など、送風のない暖房をしているときに

お肌に最適な湿度は、温度によって変わります。室温をみはり、間欠運転※でお肌の乾燥予防に最適なゆらぎ加湿をします。
うる肌モードは、ときどき加湿を停止する**「ゆらぎ加湿」**で、過加湿による部屋のジメジメを抑制しながらお肌にうるおいを与え、静電気によるお肌へのホコリ付着も減らします。

うる肌モード運転時の室温と湿度の関係

室温	ゆらぎ加湿		備　考
	上限	下限	
25℃以上	60%	50%	室温が高いときは、低めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お部屋の結露を抑制します。
18～24℃	65%	55%	ゆらぎ加湿を行ない、お肌にうるおいを与えます。
17℃以下	75%	65%	室温が低いときは、高めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お肌をしっかりガードします。

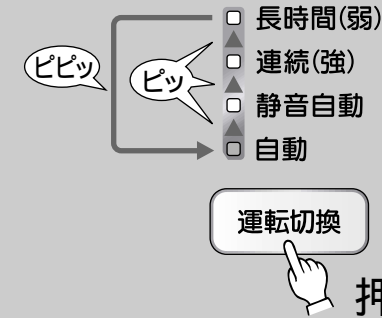
「ゆらぎ加湿」のしかた（目安）

「うる肌モード」運転と「もっとうる肌モード」運転の一部では、上限湿度と下限湿度の間で間欠運転※を行なう、**ゆらぎ加湿**をします。

- 加湿・停止の間隔や湿度の上昇は、環境によって変化します。

<長時間（弱）・連続（強）・静音自動・自動>

長時間加湿したいときは「長時間（弱）」、パワフルに加湿を続けたいときは「連続（強）」、送風音を抑えたいときは「静音自動」、湿度を一定に保ちたいときは「自動」をお使いください。

ピピッ　ピッ
- 長時間（弱）
- 連続（強）
- 静音自動
- 自動

押す

- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切換わります

●長時間（弱）

温度・湿度に関係なく「風量 弱」で加湿を続けます。
送風・ディスクユニットの回転は、停止しません。
<運転時間（給水タンク満水時）>
50Hz:約11時間　60Hz:約14時間

●連続（強）

温度・湿度に関係なく「風量 強」で加湿を続けます。
送風・ディスクユニットの回転は、停止しません。
<運転時間（給水タンク満水時）>
50Hz:約6.8時間　60Hz:約6.6時間

連続加湿をすると、結露しやすくなります。結露しはじめた場合は運転を終了するか、他の運転に切換えてください。

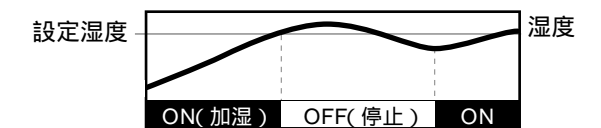
●静音自動

湿度50%を保つよう、「風量　弱」で自動的に間欠運転※をします。
加湿量・風量は「自動」運転よりも少なくなります。

●自動

湿度50%を保つよう、自動的に「風量 弱」「風量 強」を切換えて間欠運転※をします。

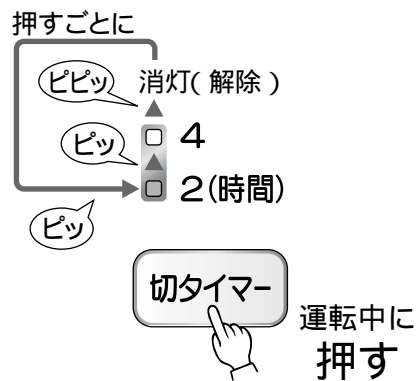
※間欠運転とは？

目標の湿度に達すると加湿（送風・ディスクユニットの回転）を止め、湿度が下がってくると加湿（送風・ディスクユニットの回転）を再開する運転です。

- 湿度が目標の湿度まで上がると風が止まり、湿度が下がると風が出ます。
- OFF（停止）のときでも、湿度チェックのために定期的に送風ファンが回って送風します。（このとき、ディスクユニットは停止しています）

使いかた

切タイマー運転

おやすみのときなどにお使いください。
運転時間を2時間／4時間から選ぶと、選んだ時間で運転したあと、自動的に運転を停止します。
給水してから運転してください。

セットする

切タイマー
運転中に
押す

- 押すごとに切換わります
- 選んだ時間のランプ点灯
（切タイマー運転開始）

- セットした時間が経過すると、
運転を停止

ランプの見かた

ランプ	4 2（時間）	4 2（時間）
運転残り時間	4～2時間	2時間以下

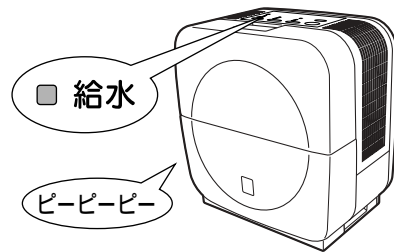
切タイマー運転中に給水タンクの水がなくなると、給水ランプの点灯のみでお知らせします。
（アラームは鳴りません）

切タイマー運転を途中で解除するときは

運転スイッチを押す。（運転「切」）
または、切タイマースイッチを押す。
（切タイマーランプ消灯）

給水ランプ

給水タンクの水がなくなってトレイの水位が下がると、水位センサーが働いて加湿を自動的に停止し、給水ランプの点灯とアラームでお知らせします。

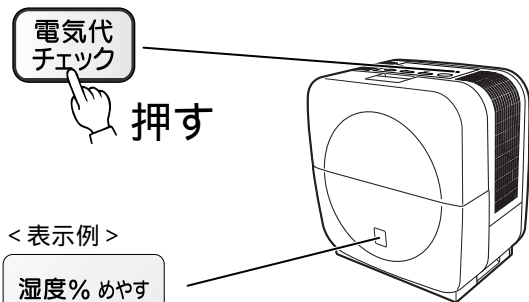
運転スイッチを「切」にし、給水してください。

- 切タイマー運転中のときは、給水ランプの点灯のみでお知らせします（アラームは鳴りません）。
- 給水タンクの中に少量の水が残っている場合がありますが、故障ではありません。

<続けて運転する場合は>
① 運転スイッチを押して、運転「切」にする
② 給水タンクに給水する
③ もう1度運転スイッチを押して、運転「入」にする

おねがい 給水タンクを取出したときに、トレイ内の水位が変動して給水ランプが点灯する場合があります。その場合は、給水タンクをセットして運転スイッチを入れ直してください。

電気代チェック

運転に使用した電気料金を確認できます。

<表示例>
湿度% めやす
1.8
電気代 円

- 円 ランプが点灯し、過去24時間の電気料金を5秒間表示したあと、元の表示に戻る

- 表示する電気料金はめやすです。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ時点から、電気料金を積算します。電気料金は最大でも10円程度です。（電気料金には待機電力も含みます）

お手入れ

⚠警告
- お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。
- 本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

加湿量を維持し、快適にお使いいただくために、定期的にお手入れしてください。
お手入れするときは、電源プラグを抜いてください。

お手入れの頻度と場所

頻度	場所
汚れたとき	タンク・本体 P15
1週間に1回程度	フィルターカバー・エアフィルター P15
● 2週間に1回程度 ● 3日以上加湿しないとき	トレイ（排水） P16
ディスクユニット・トレイの汚れがひどいとき	ディスクユニット・トレイの清掃 P17
● タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき ● ニオイがするとき	タンク・トレイ・ディスクユニットのつけ置き洗い P18
その他のお手入れ方法	ディスクユニットをクエン酸でつけ置き洗いする P18 ディスクユニットを分解してお手入れする P19

汚れたとき

タンク

水回収タンク・給水タンクに少量の水を入れて、振り洗いする

キャップが汚れていたら、スポンジ等で洗ってください。

キャップの空気穴にゴミがつまっていたら、つまようじ等で取り除いてください。

<油類が付着したとき>
油をよくふき取り、台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。
<ヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき>
つけ置き洗いをしてください。P18

本体

柔らかい布でふく

<汚れがひどいとき>
中性洗剤にひたした柔らかい布を固くしぼってふきとり、からぶきする

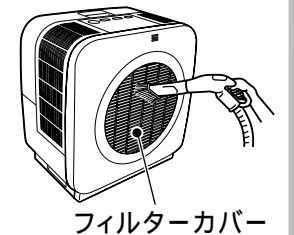
おねがい 変質・変色防止のため、ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんはその注意書きにしたがい、使用してください。

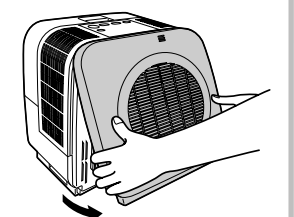
1週間に1回程度

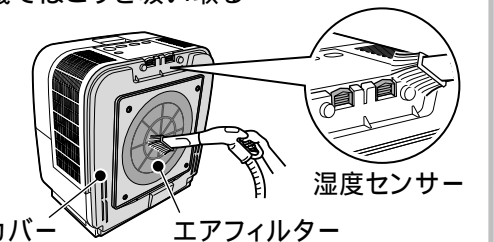
フィルターカバー・エアフィルター

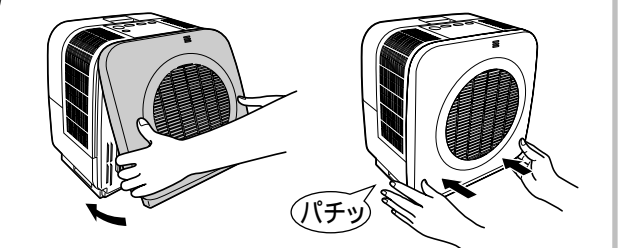
汚れがひどくなると、**加湿量が減ったり、送風音が大きくなったり、湿度検知ができなくなります。**こまめに掃除してください。

1 フィルターカバーを掃除する

掃除機でほこりを吸い取る

2 フィルターカバーをはずす

下側を持って手前に引く

3 背面カバーのエアフィルター・湿度センサーを掃除する

掃除機でほこりを吸い取る

- 強く押したり、こすったりしないでください。エアフィルターが傷つきます。
- 水洗いしないでください。エアフィルターの性能が劣化します。

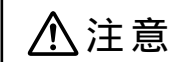
4 フィルターカバーを取付ける

上側を本体にかけて、下側をしっかり押込む

フィルターカバーの下側（左右両側）を確実にセットしないと、「U4」を表示して運転モードランプが点滅します。フィルターカバーをセットし直してください。

使いかた

こんなとき

お手入れ（つづき）

⚠警告
● お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。
● 本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

⚠注意
● ディスクユニットのネジを幼児の手の届くところに置かない。誤飲の原因になります。

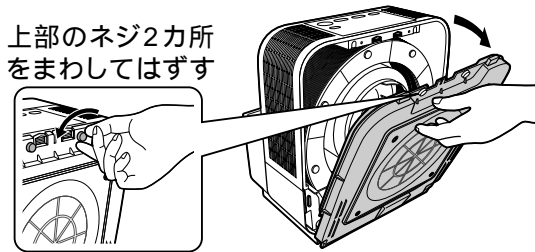
● 2週間に1回程度　● 3日以上加湿しないとき

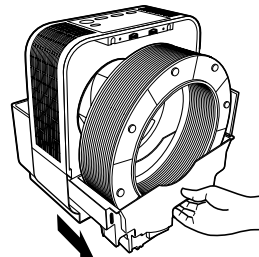
トレイ（排水）

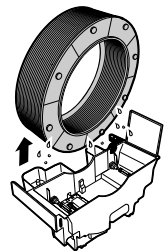
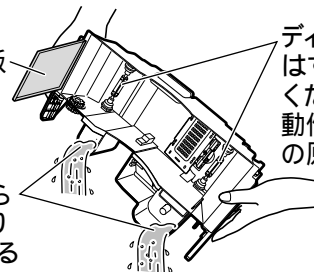
2週間に1回程度、トレイの水を排水してください。3日以上加湿しないときも、トレイの水を排水してください。
運転「切」にしたあと、約40秒間送風ファンが回ります。送風ファンが停止してからお手入れしてください。

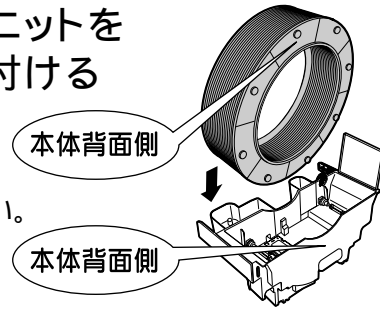
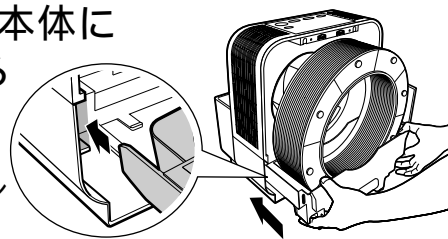
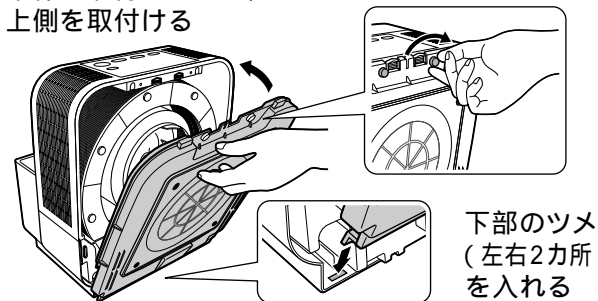
1 タンクをはずす P10

2 フィルターカバーをはずす P15

3 背面カバーをはずす

4 トレイを引出し、流し台へ持っていく

※タンクを先にはずさないと、トレイを引出せません。

5 ディスクユニットを取出す

トレイ内でよく水を切ってください。

6 トレイの水を排水する

水質・使用環境・季節等により、トレイの水に変色・にごり・ニオイが出ることがあります。水の変色・にごり・ニオイが出た場合は、トレイ・ディスクユニットを清掃 P17~19 し、トレイの水の排水回数を増やしてください。

7 ディスクユニットをトレイに取付ける

8 トレイを本体に取付ける

9 背面カバーを本体に取付ける

10 フィルターカバーを本体に取付ける P15

11 タンクを本体に取付ける P10

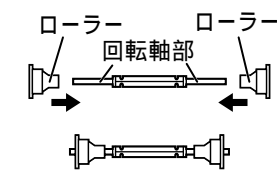
ディスク受けがはずれたときは

①回転軸部にローラーを取りつける
（取りつけ方向に注意する）

ローラー　回転軸部　ローラー

②位置を合わせる

③両端を押し込んで取りつける

しっかり取付けないと、異音の原因になります。

④ローラーがスムーズに回転することを確認する

回転軸部には、ローラーをスムーズに回すためにグリスがぬってあります。ふきとらないように注意してください。グリスは耐水性に優れたものを使用しています。

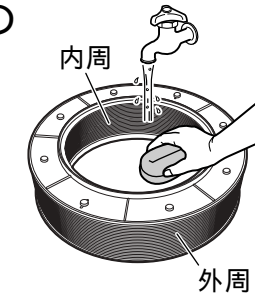
ディスクユニット・トレイの汚れがひどいとき

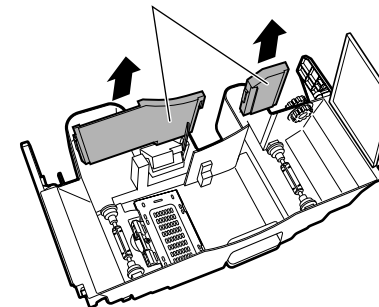
ディスクユニット・トレイの清掃

水質によっては水アカが多量に付着する場合があります。多少付着していても性能上問題はありませんが、汚れがひどいときは、掃除してください。

■ディスクユニット・トレイの取出しかた
→16ページの「トレイ（排水）手順1～5」を参照

1 ディスクユニットの内周・外周をたわしで洗う

金属たわし・洗剤は使用しないでください。

2 トレイから仕切板をはずす

仕切板（2カ所）を上に引いてはずす

3 トレイを洗う

たわし・スポンジ等で洗う

水位センサー
取りはずしたり、強く押したりしないでください。
誤動作・故障の原因になります。

ディスク受け（2本）
はずさないでください。
はずれたら取付けてください。P16

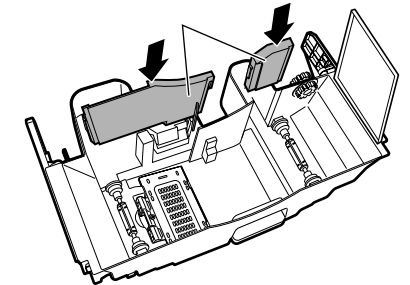
除菌ユニット
ネジで固定していますので、取りはずせません。

● 水アカが落ちにくいときは、歯ブラシ・竹べら・割りばし等でこすり取ってください。
● 水位センサーが軽く上下に動くことを確認してください。

4 ディスクユニット・トレイの水分をふき取る

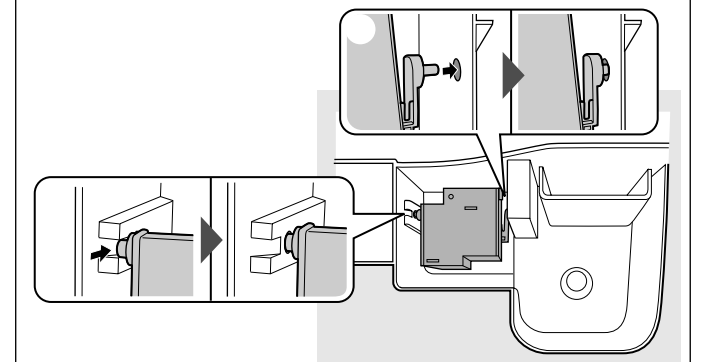
柔らかい布で水気をふき取る
お手入れ後、すぐに運転する場合は、ディスクユニットの水気を軽く切ってお使いください。

5 仕切板をトレイに取付ける

仕切板（2カ所）を差し込む

■ディスクユニット・トレイの取付けかた
→16ページの「トレイ（排水）手順7～11」を参照

水位センサーがはずれたときは

①バネ側の突起を取付ける
②突起を溝に合わせて押し込み、取付け穴に入れる
③水位センサーが、軽く上下に動くことを確認する

こんなとき

⚠警告
- お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。
- 本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

- タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき
- ニオイがするとき

タンク・トレイ・ディスクユニットのつけ置き洗い

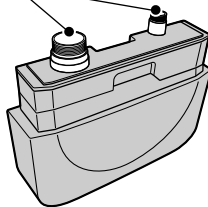
タンク・トレイ・ディスクユニットを、「台所用の塩素系漂白剤」でつけ置き洗いしてください。
- 「台所用の塩素系漂白剤」と、「酸性タイプの洗剤」や「クエン酸」を一緒に使わないでください。
- 「台所用の塩素系漂白剤」以外の洗剤を使うと、製品にヒビが入ったり、割れたりすることがあります。

1 トレイを引出し、ディスクユニットを取出す P16・17

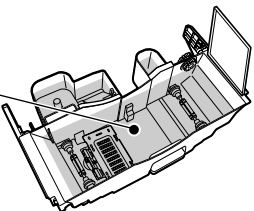
2 漂白液を入れて、約12時間放置する

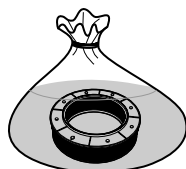
漂白液・・・台所用の塩素系漂白剤を、水で100倍に薄めた液

- タンク

給水タンク・水回収タンクに「漂白液」を入れ、キャップを閉める

タンクキャップが汚れている場合は、ディスクユニットと一緒につけ置き洗いをしてください。

- トレイ

「漂白液」を入れる

- ディスクユニット

ポリ袋に、ディスクユニットと漂白液を入れる（ポリ袋のめやす:45L以上）

水もれが心配な場合は、ポリ袋を二重にするか、水もれしても影響のない場所（浴室・屋外など）で行なってください。

3 タンク・トレイ・ディスクユニットをよく水洗いする

その他のお手入れ方法

水質やお手入れの頻度によっては水アカが多量に付着する場合があります。多少付着していても性能上問題はありませんが、汚れがひどいときは、掃除してください。

ディスクユニットをクエン酸でつけ置き洗いする

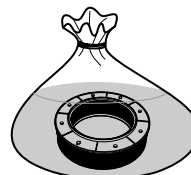
- 「クエン酸」と「台所用の塩素系漂白剤」を一緒に使わないでください。
- 「クエン酸」は薬局・薬品店でお買い求めください。
- 水アカの色（白・茶・黒）や固さは、水質によって異なります。

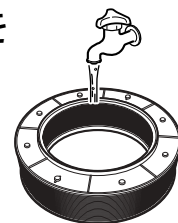
1 トレイを引出し、ディスクユニットを取出す P16

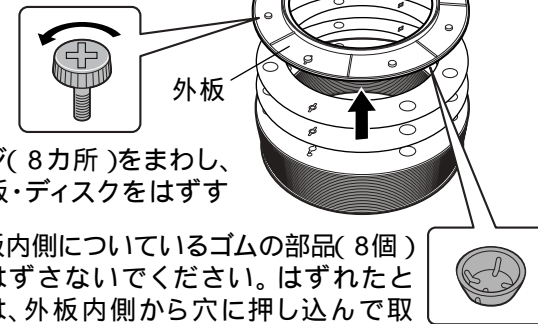
2 ポリ袋に、水とクエン酸を入れる

クエン酸使用量：水1Lあたり10g
ポリ袋のめやす：45L以上

水もれが心配な場合は、ポリ袋を二重にするか、水もれしても影響のない場所（浴室・屋外など）で行なってください。

3 ポリ袋にディスクユニットを入れ、約4時間放置する

4 ディスクユニットを取り出し、内周・外周をたわしで洗う P17

5 ディスクユニットをよく水洗いする

ディスクユニットを分解してお手入れする

1 ディスクをはずす

ネジ（8カ所）をまわし、外板・ディスクをはずす

外板内側についているゴムの部品（8個）をはずさないでください。はずれたときは、外板内側から穴に押し込んで取付けてください。

2 ディスクを水洗いする

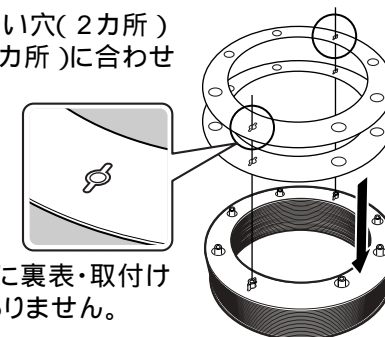
柔らかいスポンジで洗い、軽く水気を切る

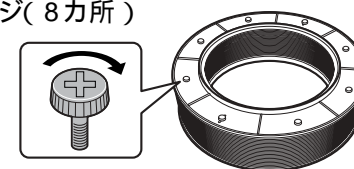
ディスク（30枚）

洗剤は使用しないでください。

ディスクをなくしたり割ってしまった場合は、そのまま使用せず、新しいディスクをお買い求めください。P19

3 ディスク（30枚）を取付ける

①ディスクの小さい穴（2カ所）を小さい軸（2カ所）に合わせて取付ける

ディスクに裏表・取付け順序はありません。

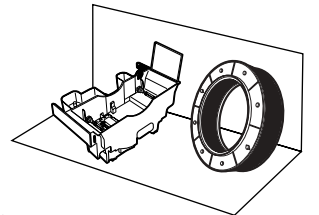
②外板を取付け、ネジ（8カ所）をまわしてとめる

ネジ取付けのコツ
まず、すべてのネジを軽くしめて位置決めをしてから、すべてのネジをしっかりしめる。

ネジをしっかりしめてください。ネジがゆるんでいるとディスクユニットが回転しなかったり、異常音がする原因になります。

保管と廃棄

保管するとき

1 お手入れ P15~18 のあと、よく水をふき取って陰干しする

水気を切り、陰干しで乾燥させる

<タンクの乾かしかた>
扇風機の風を当てて乾かしてください。
給水用キャップ・排水用キャップをはずし、給水口・排水口からタンク内に扇風機の風が入るように置く。
（タンク内部に水滴やくもりが多少残っていても、問題ありません）

2 お買上げ時の包装箱に入れるか、ポリエチレン袋などで包み、保管する

- 高温になるところを避け、湿気の少ない所で保管してください。
- 本体を倒した状態で保管しないでください。

ディスクが破損したときは

ディスクユニットの交換は不要ですが、破損してしまった場合は、新しいものと交換してください。

- 交換用 ディスク（1枚）
  - サービス部品番号　M43 P55 111D

お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にお問合わせください。P23

廃棄するとき

各自治体のゴミすて規則にしたがって、廃棄してください。

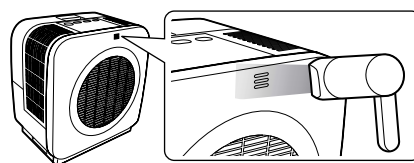
- **ディスク**
  ＜材質＞ABS樹脂
- **本体**
  分解せずに、ゴミすて規則にしたがって処分してください。

故障かな？と思ったら

下記の症状については、原因・処置方法の欄をお読みください。

状　態		原因・処置方法	
●加湿しない（運転しない） ●給水タンクの水が減らない		●湿度が高くなっていませんか。（特に、夜中は自然に湿度が上がりやすいです） →目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。	P12~13
		●「自動」「静音自動」「のど」「うる肌」「もっとうる肌」で運転していませんか。 →目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。	P12~13
		●電源プラグがはずれていませんか。 →電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P11
		●エアフィルター・フィルターカバーが目づまりしていませんか。 →お手入れしてください。	P15
		●ディスクユニット固定用ダンボールをはずし忘れていませんか。 →お買上げ時は、ディスクユニットの周りに固定用ダンボールが入っています。トレイを引出してダンボールを取り除いてください。	P16
	□給水　点灯	●給水タンクの水がなくなっていませんか。 →給水タンクに給水し、運転スイッチを入れ直してください。	P10・14
	U2 点灯 運転中のモードランプが点滅	●吸気の温度が0℃以下、または35℃以上になっていませんか。 （暖房機の温風が本体にあたっていませんか。） →吸気の温度が0℃~35℃のところに設置し、運転スイッチを入れ直してください。	P6~7
		●壁やカーテンに近すぎませんか。→正しい設置場所で使用してください。	P6~7
	U4 点灯 運転中のモードランプが点滅	●背面カバーがはずれていませんか。 →背面カバーを取付け直し、運転スイッチを入れ直してください。	P16
湿度	湿度が上がらない	●「静音自動」「長時間（弱）」で運転していませんか。 →他の運転に切換えてください。	P12~13
		●エアフィルターが目づまりしていませんか。　→お手入れしてください。	P15
		●室温が低いときは、湿度が上がりにくくなります。	P3
		●部屋が広すぎませんか。　→適用床面積の範囲でお使いください。	P22
		●窓や出入口の開閉が多いと能力不足となり、湿度が上がりにくい場合があります。 ●部屋の壁材・床材や木製の家具が乾燥状態にある場合は、湿度が上がりにくくなります。 →3～4週間様子を見てから、湿度が上がるかご確認ください。 ●窓や天井が結露していると、湿度が上がらない場合があります。	
	湿度が高くなっても運転が止まらない	●「長時間（弱）」「連続（強）」で運転していませんか。	P13
		●直射日光や暖房機の温風が直接本体にあたっていませんか。 →正しい設置場所で使用してください。	P6~7
	加湿機の現在湿度と他の湿度計の表示が違う	●同じ部屋でも、場所によって湿度差があるためです。	P6~7
		●加湿機の湿度センサーと湿度計では、精度や湿度の変化に対する応答の速さなどが違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。	P7
		●エアフィルターが目づまりしていませんか。　→お手入れしてください。	P15
	現在湿度がいつも高い	●北側にある部屋や、浴室などの水回りに近い部屋には湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。 →風通しの良いところで運転しても状態が変わらないときは、下記の方法で湿度センサーが正常か確認してください。	P6~7

湿度センサーの反応確認方法　＜使用するもの：ドライヤー＞

運転中に、ドライヤーを通気口 P8 から15cm程度離し、温風を約1分間当てる。（ドライヤーに出力切換がある場合は、「弱」で）

湿度表示が下がってくれば正常です。下がった後、しばらくすると湿度表示が上がることも確認してください。

※本体の温度異常検知により、現在湿度表示部に U2 が点灯した場合には、約10分間待ってから、再度運転スイッチを「入」にしてください。

状　態		原因・処置方法	
音がする	「ガタガタ」と音がする	●ディスクユニット固定用ダンボールをはずし忘れていませんか。 →お買上げ時は、ディスクユニットの周りに固定用ダンボールが入っています。トレイを引出してダンボールを取り除いてください。	P16
		●ディスクユニットのネジがゆるんでいませんか。　→ネジをしっかりしめてください。	P19
	「ボコボコ」と音がする	●給水タンクからトレイに水が供給されるとき、給水タンクの中に空気が入る音です。	
	「ボコボコ」という音が大きくなった	●給水用キャップの空気穴が、水やゴミでつまっていませんか。 →つまっている水やゴミを取り除いてください。	P15
	「ウィーン」と音がする	●加湿中は、ディスクユニットが回転する音がします。	
	「ブップップッ」と音がする	●タンクを本体からはずして、キャップを上にして置いたときに、給水用キャップからタンク内の空気が出る音です。	
	「カチャ」と音がする	●ディスクユニットを回転させるモーターのギアが切換わる音です。 運転開始時・運転切換時に音がすることがあります。	
送風ファンが動いているのにディスクユニットが回らない		●「自動」「静音自動」「のど」「うる肌」「もっとうる肌」の間欠運転中は、湿度チェックのために、定期的に送風ファンのみ運転しています。	P13
ニオイが出る		●新品のディスクユニットは、使いはじめにニオイがすることがあります。 しばらく加湿すると、ニオイは徐々に薄れてきます。 ●エアフィルターが汚れていませんか。 →お部屋やタバコのニオイがエアフィルターに付着して、ニオイが出ることがあります。お手入れしてください。	P15
		●タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物がありませんか。 →タンク・トレイ・ディスクユニットをつけ置き洗いしてください。	P18
タンク内に粉状のものが付着している		●除菌ボックス内部の抗菌剤の粒どうしがこすれ、粉状になったものが付着することがあります。性能上問題はありません。そのままご使用いただけます。	
ディスクユニットに粉のようなものが付着している		●水回収タンクにたまった水を、給水のたびにすてていますか。水回収タンクの水をすてないと、水アカがつきやすくなります。水回収タンクの水をすてていても、水質によっては水アカがつくことがあります。 水アカの色は、水質により白・青・茶・黒などになります。 →多少付着していても性能上問題ありませんが、気になるときはお手入れしてください。	P17
タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき		●2週間に1回程度、トレイの水を排水していますか。 →トレイの水を排水しないと、汚れが付着します。タンク・トレイ・ディスクユニットをつけ置き洗いしてください。	P18
給水ランプ	給水タンクに水が入っているのに点灯する	●水位センサーがひっかかったり、はずれたりしていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除き、取付けを確認してください。	P8・17
		●給水した給水タンクをセットしたあと、運転スイッチを入れ直しましたか。 →ランプ点灯後に給水したときは、運転スイッチを入れ直してください。	P14
	給水タンクの水がなくなっても点灯しない	●水位センサーがひっかかったり、はずれたりしていませんか。 →水位センサーの周りのゴミを取除き、取付けを確認してください。	P8・17
A1 A6 E0 E1 どれかを表示 すべてのランプが消灯		●故障です。 運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。	P23

上記の処置をおこなっても状態が直らなかったり、異常表示が消えない、また水がもれる場合は、運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23

仕様

形名		SV-DK80D	
電源		単相100V 50/60Hz	
消費電力＜最大＞（定格電流）		50Hz	60Hz
		連続(強)：17W(0.17A) 長時間(弱)：13W(0.13A)	連続(強)：19W(0.19A) 長時間(弱)：12W(0.12A)
加湿量※1		連続(強)：780mL/h 長時間(弱)：460mL/h	連続(強)：800mL/h 長時間(弱)：390mL/h
連続運転時間※1		連続(強)：約6.5時間 長時間(弱)：約11時間	連続(強)：約6.4時間 長時間(弱)：約13時間
運転音※2		強：38dB 弱：27dB	強：38dB 弱：27dB
適用床面積（木造和室／プレハブ）※3		～13畳(22m²)／～22畳(36m²)	～13.5畳(22m²)／～22畳(37m²)
のどガード・うる肌モード運転時		～6畳(10m²)／～10畳(16m²)	
待機電力		約0.1W	
給水タンク容量※4		約6.0L(加湿有効容量：5.1L)	
電源コード長さ		1.8m	
寸法（高さ×幅×奥行き）		405×385×255mm	
質量		8.5kg	
安全装置	渇水時自動運転停止装置	トレイの水位が規定値より低下すると、運転を停止します。	
	室温異常時自動運転停止装置	吸気が0°C以下になったり35°C以上になると、過加湿防止のため運転を停止します。室温が0°Cを超え35°C未満の範囲になったとき、運転スイッチを入れなおすと復帰できます。	
	過電流防止装置	何らかの異常で、基板の回路に過電流が流れた場合は、この安全装置（電流ヒューズ2A）が作動して全停止します。自然復帰はしません。	

※1 室温20℃、相対湿度30%を持続する室内で運転した数値です。
※2 運転音は本体周囲1mで測定した平均値です。
※3 適用床面積はJEMA（日本電機工業会）規格（JEM1426）に基づく値です。
※4 加湿有効容量とは、カルキ水回収システムにより、水回収タンクに回収される水（約0.9L）を除いた容量です。

保証とアフターサービス

■保証書（裏表紙に付いています）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から1年です

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この加湿機の補修用性能部品を製造打切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら(20～21ページ)」にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

●修理部品は
部品共用化のため、共通色に変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱 加湿機
2. 形　　名　SV-DK80D
3. お買上げ日　　年　月　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー　365日
フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北全域 関東甲信越（長野県飯田地区を除く） 静岡県・九州全域	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
長野県（飯田地区） 東海（静岡県を除く） 北陸・関西・中国・四国全域	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K09B

愛情点検	★長年ご使用の加湿機の点検を!	加湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

ご使用の際にこのようなことはありませんか		ご使用中止	
● スイッチを入れても運転しないときがある。 ● 水漏れする。 ● 本体・電源コード・プラグが異常に熱い。 ● 運転中異常な音や振動がする。 ● コゲ臭い。 ● 運転音が異常に大きくなる。 ● 取付ネジが腐食、ゆるんでいる。 ● 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。 ● その他の異常や故障がある。	▶		故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT790D101H03